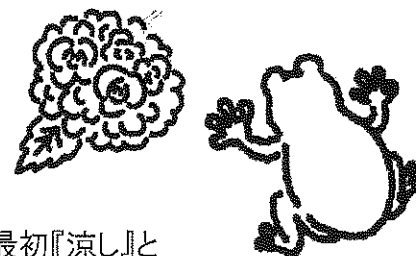


2025年度 矢向あけぼの保育園だより 6月号

雨の日が増えてきました。まだ、本格的な梅雨にはなっていないようですが、そろそろ梅雨入りのニュースが入ってくる頃になりました。子どもたちは散歩に行けない、大人は洗濯物が乾かない、子どもの送り迎えが大変と、気分が憂鬱になりますが、暑い日が続くと雨でもひと時の涼をとると思え、見え方が変わってきます。

江戸時代の俳人・松尾芭蕉は『五月雨を集めて早し最上川』と有名な句があります。『早し』となっているところは、最初『涼し』と句会で発表されたと言われています。松尾芭蕉が東北・北陸を訪れた当時、なぜかその年は異常に暑かったそうです。五月雨は梅雨を表現した言葉ですが、表現や感じ方によっては恵みの雨となるのですね。

子どもたちの育っていく過程も時には、大人を困らせたり問題行動だととらえる事もありますが、大きくなった時に笑い話になったり、あの時のつまずきがあったから次の成長につながったのだと、大人の考え方が変わると見え方もかわります。『雨降って地固まる』という言葉もありますし、梅雨の時期だからこそ楽しめる余裕も持ちたいですね。



【なつまつりに向かって準備中です】

なつまつりは、新年度スタートして初めての大きな行事です。特にぞう・きりんグループは、自分たちで店を出すので話し合いやお店準備をコツコツと進めています。ぞうグループは、おみこしにのせるのを何にするのか、何日も話し合いをしていました。こいのぼり作りで挑戦した縫物が楽しかったようで、T シャツ染めの絞りも縫物で頑張っています。どんな、形になるか楽しみです。去年は、10周年記念 T シャツを作成したので初めて染め T シャツに参加する保護者の方もいると思います。乳児クラスは、保護者の方に絞りを作っていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。今後またなつまつりニュースなどで、子どもたちの様子を伝えていきたいと思っています。

【気候変動と行事の持ち方】

コロナが5類になり、行事を以前のように行えるようになりました。その点では子どもの活動の幅が増え、コロナ禍以前のような、制約ない保育が行える日常が戻ってきました。ですが、昨年度から熱中症警戒アラートという制約が加わりました。夏の暑さが、異常になってきています。そのため暑すぎて外で遊べない時もあり、昨年のお泊り保育は台風のため延期になりました。なつまつりも、以前は7月上旬に開催していましたが、少しでも気温が高くなる前にと6月最終週にし、プール設置も早めに行っていこうと考えました。お泊り保育も、台風の時期をずらして7月に行います。自然災害もこの気候変動で、大きな災害につながりやすくなってきています。これからも、安全面を考慮しながらも、子どもたちの経験の場が狭くならないよう、工夫しながら保育を進めていきたいと思っています。



園長 飯田雅美